

東日本大震災みやぎこども育英募金 寄附者の皆様へのメッセージ



はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの子どもたちが被災し、様々な問題を抱えることとなりました。

これを受け、宮城県では、同年より「東日本大震災みやぎこども育英募金」の受け入れを開始しました。皆様からお寄せいただいたご寄附は「東日本大震災みやぎこども育英基金」として積み立て、東日本大震災により影響を受けた子どもたちへの支援に活用しています。

このたび、東日本大震災みやぎこども育英募金へ寄附をしてくださった皆様へのメッセージをお寄せいただきました。メッセージは、寄附金を活用した奨学金をお届けした子どもたち、そして、保護者の方々により、令和7年度にいただいたものです。

これからご紹介するメッセージには、感謝の気持ちや現在の状況などが、思い思いの形でつづられています。本メッセージ集により、東日本大震災で被災された方々の思いを伝えることができれば幸いです。

目次

	東日本大震災みやぎこども育英基金奨学金 受給者からのメッセージ	・・・ 1
	東日本大震災みやぎこども育英基金奨学金 保護者からのメッセージ	・・・ 8
	遺児等サポート奨学金 受給者からのメッセージ	・・・ 17
	遺児等サポート奨学金 保護者からのメッセージ	・・・ 20

東日本大震災みやぎこども育英基金奨学金 ～受給者からのメッセージ～



<高校1年生より>

いつもありがとうございます。
中学校を卒業し、今年無事希望の高校へ入学することが
できました。高校に入ったばかりですが、大学に行きたいと
考えているので勉強に力を入れて頑張ります。新しい友達
も沢山つくろうと思います。
これからも見守っていただけると嬉しいです。ご支援よろしく
お願いいたします。

<高校2年生より>

寄附された方々に心より感謝申し上げます。
将来の夢に向かって今後も全力で努力し、
社会に貢献できる人材になるように頑張っています。

<高校3年生より>

いつもご支援ありがとうございます。今年で高校3年生となり、私は6年制の大学に進学したいと考えています。進学するにあたって当時あった支援などがだいぶ終了しており、色々な支援を探しながら大学進学を検討しています。どうかこれからも皆さんの支援で支えていただきたいです。私もいつか皆さんのように人の役に立つ人になりたいと思います。ご支援よろしくお願ひいたします。

<専門学校1年生より>

この度は私たちのために寄附していただきありがとうございます。皆様のおかげで今の生活が成り立っています。私は震災で母を亡くしました。1人も体も苦しい時、皆様が手をさしのべてくださり、救われました。この感謝を忘れず、勉強に励んでまいります。本当にありがとうございました。

<大学1年生より>

長い間ご支援いただき、誠にありがとうございます。
皆さまからのご支援のおかげで塾に通うことができ、国立大学に進学することもできました。
現在の自分の環境にとっても満足しており、感謝の気持ちでいっぱいです。
これからも学びを大切にし、将来は自分も子供たちに支援できる人間になれるよう努力していこうと思います。
本当にありがとうございました。

<専門学校1年生より>

毎年いつもありがとうございます。私はこの4月から専門学校に進学し、寮生活が始まりました。このような生活を送れているのも、育英基金財のおかげです。美容師になるという夢を叶えたいにも、専門学校で必死に元気で頑張ります。

<大学2年生より>

寄附してくださり、ありがとうございます。
寄附して貰えたことにより学べたかった経営学や法学に関する知識を学ぶことができて感謝しております。本当にありがとうございます。

<大学2年生より>

いつもご支援して下さいありがとうございます。

私は大学で経営学部にも所属しており、興味のあることを学ぶことができています。これからも周りの方への感謝の気持ちを忘れず、大学生活を送っていきたいです。

<大学3年生より>

ご支援して頂き、ありがとうございます。

奨学金のおかげで、現在看護大学に通うことができています。

これまでのご支援に感謝し、私も看護師として誰かの支えとなるよう、日々努力していきたいと思います。

<大学3年生より>

東日本大震災 みやげこども育英基金奨学金に寄附くださった方へ

震災から15年が経ち、当時小学生だった私は成人になりました。

今は大学の早期卒業と海外大学院への進学を目指して勉学に励んでいます。

<大学4年生より>

いつもご支援いただきありがとうございます。

皆様の温かいご支援のおかげで、安心して学業に取り組むことができております。
今後も感謝の気持ちを忘れず、日々努力してまいります。

<大学4年生より>

大学4年目の年が始まり、あ、という間たたくと寂しい気持ちもありつつ、一つ一つが輝かしい瞬間でした。

このように感じること、この給付制度のおかげであると日々、感じております。

新しい出会い、新しい知識、新しい挑戦が私の背中を押してくれている、そんな感覚でした。

私自身、警察官になるという夢が見つかり、家族、仲間を支えながら採用試験に向け準備しています。

学びを深めることができ、今に感謝を忘れず、日々精進して参ります。
今後とも宜しくお願い致します。

<大学4年生より>

今年度もご支援して頂きありがとうございます。

ようやく大学4年生にもなり、ますます気を引き締めて頑張りたい所存です。

卒業までわずか一年です。 よろしくお願ひします。

<大学4年生より>

日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。
おかげさまで学業に専念することができ、在学中に目標としていた大学院入試の推薦や資格を取得することができました。

将来は社会に貢献できる人材となることで、いただいたご支援に報いてまいりたいと考えております。

このたびはご寄附をいただき、誠にありがとうございました。

<大学院1年生より>

お陰様で、心配なく大学院に進むことができ、
日々研究に取り組むことができています。

今後は就活、研究と忙しくなる年ではありますが頑張ります。
今後ともご期待に添えるよう、一層努力してまいります。

<受給者より>

奨学金のおかげで自分の行きたかった美容専門学校に行
けて、今2年生に上がることができました。
ありがとうございます。

<受給者より>

今年は東日本大震災から15年を迎えます。

多くの方に支えられ、私は今も頑張っています。

今年度から大学3年生となり、ゼミにも参加する予定です。

これまでの経験が無駄にせず将来のために一步ずつ前に
進んでいきます。

東日本大震災みやぎこども育英基金奨学金 ～保護者からのメッセージ～



< 中学3年生の保護者より >

いつも温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

おかげさまで子供も無事に中学3年生になり、現在は、志望校合格に向けて、がんばる姿が見られるようになりました。

いただいた奨学金は、塾の費用や教材費として大切に活用させていたたいいております。

皆様の真心に支えられている事を忘れず、これからも親子共々がんばっていきます。

いつも本当にありがとうございます。

< 中学3年生の保護者より >

子どもが小さい時は、どうやって生活していこうかと、どこまで続く真の暗なトンネルを歩いているような気持ちでした。

震災から15年が経ち、皆様の奨学金のおかげで生活も不自由なく、これまで子ども達も元気に成長することができています。本当に感謝です。本当にありがとうございます。

< 高校 1 年生の保護者より >

いつも大変お世話になりありがとうございます。皆様のおかげで無事第一志望の高校に入学することができました。中学ではバスケット部で部長を務め、県大会にも出場しました。生徒会にも入り、高校でも部活に学校生活に楽しんでほしいなーと思っていたところ、目標ができたそうで... 部活には入らず、難関大を目指して勉強一本で頑張るそうです...！
部活やらないから塾とか夏季講習に通いたいそうで、応援するつもりです。
部活も入っているし、塾も夏季もいいよーと言ってあげれるのは、皆様の支援のおかげです。一馬力でいいが、おかげ様で制限させることなく、育てられてると思います。
今は毎日の弁当作りで母は大変ですが、目標を持てた息子を精一杯応援したいと思います。これからもどうぞ温かく見守って頂ければと思います。いつも本当にありがとうございます。
0歳だったあの子が高校生... 七くなが文庫の分も、かいほい生きて欲しいです。

< 高校 1 年生・高校 3 年生の保護者より >

いつも大変お世話になっております。

東日本大震災から15年が経ち、当時子供だった方々が家庭を持つまでになってきました。ですが、うちの子は当時0歳と2歳の2人娘で、やっと、やっと今年、下の子が中学校を卒業して義務教育が終わったばかり。思うようには、体力も金銭共に出来ませんでした。その中でこの支援は、本当に本当に心の支えでした。私達の暮らしを支えてくれました。ですが、最近はおとんどの支援が終了していて、当時小学校以上など指定があった支援やこの15年でサポートが無くなっているものが多くまだまだ不安でいっぱいです。大学にも行きたいと言っています。どうか変わらずまだいる私達を忘れずサポート・ご支援をお願いしたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

< 高校2年生の保護者より >

いつもご支援ありがとうございます。
おかげ様で上の女子の孫は、昨年大学を卒業して
東京で仕事をしております。
下の男子の孫は4月から高校2年生になります。
あれから15年も過ぎ、1年2ヶ月で母を亡くした孫も
高校2年生です。とても元気な孫です。
皆様のご支援はとてもありがたく、いつも感謝いたしております。
長年のご支援本当にありがとうございます。

< 高校2年生の保護者より >

様々な支援に感謝しております。
姪を養女として、見守っています。
来年度(今年度)は2年次となり、目標を立て、頑張っています。
いつも本当にありがとうございます。

< 高校 3 年生の保護者より >

長期にわたる支援頂きありがとうございます。

震災当時、3才だった娘は皆様に支えられ、4月の誕生日で18才になりました。震災で主人を亡くした時には4人の子供を抱え、私はどうやって育ていけばいいだろうと何日も泣きました。それでも横浜に移り住み、これまで働いた事がなかった私ですが会社へ就職し、ついには今年の4月で4人の子が全員成人となりました。私1人では成しえなかった事と思います。本当にありがとうございます。

< 大学 1 年生の保護者より >

おかげ様で子供たちの進学や一人暮らしの心配も少なく大学に送り出すことができました。子供たちには、しっかり勉強をし、立派な社会人となって恩返しできるように話しています。本当にありがたく心から御礼申し上げます。

<大学4年生の保護者より>

震災から15年経ちました。
無我夢中で過ごしてきました。
そんな中で、息子は周りへの感謝の気持ちと常に持ち
警察官になり、今度は恩返しだと、Yの道への努力を
しています。
あと一年で巣立って行きますが、社会に出てもしっかりと
自分の人生を歩んで行って欲しいと願っています。
皆様からのご支援に心より感謝申し上げます。

<大学4年生の保護者より>

毎年ありがとうございます。
おかげさまで大学も4年生になりました。
ここまで来られたのも皆様の支援のおかげです。
就職するまでが不安ですが親子共々頑張りたいと思いま
す。

<大学4年生の保護者より>

おかげ様で子供たちの進学や一人暮らしの心配をすることが少なく大学に送り出すことができました。

大学4年生の息子は大学院を目指し、大学の勉強を頑張り、将来のために資格試験にも挑戦しております。

また、大学院推薦の一次試験も通り次は二次試験を受験できることになりました。

皆様のご支援のおかげと心から感謝しております。

本当に、ありがとうございます。

<専門学校4年生の保護者より>

震災から15年、私も還暦を過ぎ時の長さを感じます。
幼や息子を4年生になり、3月にはホセ希望の会社から内定いただき
自分の夢に向かっていきます。これも皆様の支援によるものと感謝
申し上げます。私人では、心でして、ありがとうございます。
これから社会人になり、世の中に思返しが出来ればと考えています。

<大学院1年生の保護者より>

おかげ様で今年度大学院へ進むことができ修士1年生となることができました。

本人は、研究の他に、TOEICの勉強も頑張っており、インターンシップや就活の前までに800点を超えたいと頑張っております。

今年は就活、研究と忙しくなりますが、ご支援のおかげでやりたいことをやらなければならないことに集中して取り組んでいるようです。

本当に、皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

<保護者より>

ご支援 いただきありがとうございます。
おかげさまで震災当時小3だった孫も今年無事に
成人を迎えることができました。
本当にありがとうございます。まだまだ未熟ですが
これからも感謝の気持ちを持ち続け歩んで行ってもらいたいです。

<保護者より>

応援していただいた皆様のおかげで高校生活生徒会活動やボランティア活動等に参加して楽しく過ごすことができました。ありがとうございます。

4月からは大学に進学して専門職に就くために勉学を頑張っています。自宅から離れて自炊しながらなので、まだ慣れていないので晩ご飯も食べずに眠ってしまったと申ししていました。これから体調を整えて大学生活を楽しんでくれることを望んでいます。

温かい御支援心から御礼申し上げます。

<保護者より>

いつも大変お世話になりまして有難うございます。

東日本大震災から早いもので15年が過ぎました。

孫たちもご支援のお陰で教育環境を整えることができまして希望の大学に進学でき勉学に励んでいるところです。ご寄付頂きました皆様へ心より感謝申し上げます。

私の孫育ても終盤になりましたのでもう少し元気で頑張りたいと思っています。

<保護者より>

あたたかいご支援ありがとうございます。
おかげさまで大学に進学お事が出来ました。
今後とも宜しくお願いします。

<保護者より>

いつも、ご支援ありがとうございます。
娘のために、大事に使わせていただきます。
これからも、よろしくお願ひします。

<保護者より>

皆様の温かいお心遣いに、心より感謝申し上げます。
みなさまのおかげで、娘はやりたい、学びたい語学をまなべる
学校へ通え、勉強することができています。

遺児等サポート奨学金 ～受給者からのメッセージ～



<小学4年生より>

貸付をしてくれてありがとうございます
そのおかげでならいごとができています。
学校も楽しくかよってます
これからならいごとやバレーもがんばります。



<小学5年生より>

。世界のきふしてくれた方々へ
Thank you so, much!
日本できふしてくれた方々へ
目かけてくれて、ありがとうございます。
ございます!

<中学1年生より>

私はつい最近、中学校に入学しました。これまでの小学校生活でいっしょに生活ができたのは、あたたかいご支援を支えてくださったみなさんのおかげです。本当にありがとうございます。これから新しいステージに進むのでドキドキや不安の気持ちがありますが、文武両道を目標にかかかってがんばっていきたいと思います。

<中学1年生より>

寄附をしていたさありがとうございます。
その支援のおかげで習い事などができています。
私は今年で中学生になりました。これからは勉強と部活をがんばっていきたいです。

< 中学2年生より >

寄附して頂きいつもありがとうございます。

中学二年生でも、勉強を頑張ります。

新しい友達を沢山作れるようになりたいです。

< 中学3年生より >

私は小学生低学年の時に父を亡くし、奨学金をいただけたようになりました。中学3年生になるまでの8年間、奨学金のおかげで好きな習い事を習わせてもらったり、学校用品などをみんなと同じように買ってもらえたことができて、いつもとてもありがたく嬉しく感じていました。ありがとうございます。

みなさんに助けていただいた分、これから沢山恩返ししていきたいです！

< 受給者より >

いつもご支援していただきありがとうございます。

私は今年度から高校生になり新しい環境で生活しています。

みなさんの支援のおかげで塾にも通えてたくさん勉強をし、高校受験に臨むことができました。

いつもさまごまな場面でもいただきありがとうございます。

これから何事にも一生懸命に頑張っていきます。

遺児等サポート奨学金 ～保護者からのメッセージ～



<小学2年生の保護者より>

ほんとに助けてます。

<小学3年生・小学5年生の保護者より>

習い事を頑張らせて頂いています。

毎年ありがとうございます。

<小学3年生・小学6年生の保護者より>

あたたかいお心遣いに、感謝の気持ちです。

子供が無事に成長しますように願いを込めて、
有り難く活用させて頂いていきます。

<小学3年生・中学3年生の保護者より>

突然の夫の死からもうすぐ3年。生活が drastically 変化した。子どもが3人いて 母に母にこれもお金もかかるので、奨学金はとても助かります。今支えてもらっている分、将来 誰かの役に立てる大人になっほしい、と子どもたちには伝えています。夫がいればな... パパがいればな... と私も子どもたちも思うことはありますが 前向きにやろうと思っています。ありがとうございます。

<小学4年生の保護者より>

遺児等サポート奨学金 ありがとうございます。

体を動かすことが大好きな息子。2年生から続けているスイングスクール練習がんばっています。

4月は2度大会があり、今はそれに向けて いつものも増して練習量ふふていて 大変そうです。

これからも 夢に向かっていく息子をたくさん応援していきます。

<小学4年生の保護者より>

長い間で支援していただいている皆様ありがとうございます。

私と子供3人がお世話になっております。

今年で一番目は高校生になり、二番目は中学生になり、三番目は小学校4年生です。おかげ様で、子供達は習い事も勉強も頑張っています。

本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

<小学4年生の保護者より>

幼稚園頃の頃に父親と死別しました。深い悲しみの中、

ひとり親家庭となり、兄・姉もいての生活が始まりました。

その中で、みやぎ遺児等サポート奨学金の事を知り、

受給させて頂き、安心して生活を送れています。

本当にありがたい制度であります。

寄附された皆様、大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

<小学4年生・6年生の保護者より>

日頃より、Tさんのご支援をいただき感謝申し上げます。

子どもたちは、すくすく成長し、楽しく、充実した日々を過ごすことが出来ています。それぞれ、自分たちの目標があり、将来の夢に向かって、頑張っています。親として、その夢の応援ができるのも皆様の「ご支援」があってのことです。感謝の気持ちでいっぱいです。この気持ちを忘れず、子どもたちが社会人になった時には、一緒に社会へ貢献したいと思っています。ありがとうございます。

<小学4年生・6年生の保護者より>

ご支援ありがとうございます。

習いごとに使わせていただいております。

皆様の優しさに支えられた事をしっかり教えていきたいと思っています。

そして将来誰かを支えてあげられる大人に成長してほしいです。

<小学4年生・小学6年生の保護者より>

子どもが小4、小2の時に主人が病気で亡くなりました。
突然のことか。日々生きる中で精一杯の中こちらのサポートを
矢口しました。将来子どもが自分の好きな道を歩めるように
使わせて頂きます。
本当にありがとうございました。

<小学5年生の保護者より>

私達家族は、東日本大震災の直接。被災者ではありませんが、8年前、突然
夫を亡くし、当時3歳と1才だった2人のお子連をどうにかして生かさねば、
という危機感は今でも忘れられません。亡き夫のふりさと身を寄せて、どう
にかこうして生きていられるのは、たくさん、方々に支えられてきたおかげです。
“母子家庭が大変”というイメージは、確かにありますが、大変なのは、私達
だけではないと思います。この基金は、日本国内のみならず海外からの寄附も
いただいていると伺いました。普通のくらしをしていたら知らなかった困難な状
況の中でも、こうした基金があるお陰で、何とか食費や学用品等に、
子どもができ、「生かされている」と実感しています。将来、子供が成長した人
になつたらしめたこの強かさ(顔は見えなくてもつなかりを感じず)の恩を
無駄に感じず“活かせる大人”にならねばいいと思います。

<小学5年生の保護者より>

この子が幼稚園の年長の時に、交通事故で突然パパが亡くなってしまい、これから先のことが不安だらけでしたがこちらでサポートしていただき大変ありがたく思っています。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

<小学5年生の保護者より>

子供が4才の頃、夫と死別しました。子供には軽度の知的な障害があり、学校の登下校、勉強などで家庭での支援が必要でした。私も年を重ねて、子供も成長していく中で、夫のいない時間が一緒にいた時間を追いついていきました。パパがいない心細さ、周りの人からの心ない言葉で一歩進んでは止まり、悲しかった記憶の中にもどるような日々の中で生活するにはあまりにも辛い世の中が待っていました。仕事をしながらもお金の不中、母である私しか収入が無い中、このような寄り付けをして下さる方々がいらっしゃる事、私達が「生きていてもいいのか?」と思いつながらの生活を支えて下さる方々の志をいつも心に持ちながら、日々歩んでいけたと思っています。ありがとうございます。

<小学5年生の保護者より>

大変お世話になりありがとうございます。
皆様より多大なるお力添えをいただきまして心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。
皆様のあたたかいご支援をいただき、親子ともどもなんとか少しずつですが前を向くことができいております。
ありがとうございます。

<小学5年生・中学1年生・中学3年生の保護者より>

育英募金へ寄附金を寄せられた皆様へ感謝申し上げます。

たくさんの方々のあたたかいお気持ちたちが私たちを励まして下さっています。今、娘たちは小学5年、中学1年、中学3年生となり、多感な年頃を迎えています。

いざ細く思える時も、たくさんの方々に支えられていることがとても頼もしく、ありがたく感じています。

皆様のいくばり、本当にありがとうございます。娘たちのため、私もがんばります。

<小学6年生の保護者より>

娘が3才の頃に主人が亡くなり、色々な手続きをしました。その際、こちらの奨学金のことを教えていただきました。会ったことのない、たくさんの方に助けられていると思っています。

ありがとうございます。

<小学6年生の保護者より>

本当に感謝致します。助けて頂きありがとうございます。

<小学6年生の保護者より>

小学1年生から始めた空手の他に、いこに言われて通う日本剣道教室、昨年からはいこく友達に一緒にバスケットボールと言われていたミニバスチームにも通うことになっています。

やりたい事をあきらめてはいくならないので、この奨学金も有義義に使用させていただきます。感謝しています。

<小学6年生・中学2年生の保護者より>

夫が亡くなり、6年になりました。亡くなった当初は、今後どうやって生活していくか、不安な毎日でしたが、遺児等サポート奨学金という貴重なサポートがあることを知り、じにもくれ余裕を持つことができました。

“ひとり親”というだけで、息子達のやりたいことをさせてあげられな...という事は、はいよう...と思ってい...ましたが、今、スポーツや部活に目一杯取り組むことができています。このサポートのおかげです。い...から感謝しています。息子達がもうくれ大きくなったら、親子共々、思返...ができるよう頑張ります。ありがとうございます。

<中学1年生の保護者より>

夫が急逝したのは、長女が中学1年生、長男が小学2年生に進級する春でした。当時専業主婦だった私は、これからどうやって生活し子育てしていくかと途方にくれて、不安でいっぱいでした。そんな時、遺児等サポート奨学金のことを教えていただきました。私たち家族のことを気に掛けてくれる人がいる、助けてくれる人がいるんだと、金銭的にはもちろんですが、精神的にとっても助けられ、勇気を持つことができました。

ご支援を受け始めてからちょうど5年が経ち、長女は高校3年生、長男は中学1年生になりました。お陰様で2人共のびのびと育ち、勉強やスポーツに励み充実した学生生活を送っています。ご寄附いただいた皆様には、心から感謝しております。本当にありがとうございます。そして、今後ともよろしくお願いいたします。

< 中学1年生の保護者より >

いつも皆様からのあたたかいご寄附ありがとうございます。
私には3人の子どもがおり、3人ともお世話になりました。
今年は下の子も中学生になりました。
高3、高1、中1、となり、毎日バタバタですが子ども達は
勉強に部活にと楽しい学校生活を送りながら
夢に向かって頑張っています。
下の子はまたお世話になりますか、本当にみな様には
感謝しております。
大事に使わせて頂きます。

< 中学1年生の保護者より >

寄附していただき、大変ありがとうございました。
助かりました。

< 中学1年生の保護者より >

いつも助けていただき、本当にありがとうございます。おかげ様で、無事に中学校に入学することができました。立派な制服を着て元気に通学しております。
お金は、大切に大切に子供の教育に使わせていただいております。将来は、人助けのできる優しい大人に育ってほしいと願いながら日々生活しております。感謝の気持ちを忘れず、がんばりたいと思います。

< 中学1年生の保護者より >

夕陽が 中学校に入学しました。
制服、カバン等、いろいろ準備に
お金がかかりました。卒業時一時金は
本当にありがたいです。感謝いたします。
今後とも貴重なお金と有意義に
使いたいと思います。

< 中学1年生の保護者より >

このたびは、皆さまのあたたかいご支援のおかげで 中学校入学
する事が出来ました。バリエリ御礼申し上げます。制服や学用品も
購入する事が出来ました。ただただ感謝の気持ちで一杯です。
私一人では、どうも準備することが難しくなっています。どうも有難うござい
ます。日々応援していただけているあたたかいお気持ちを改めて
感謝にさせていたたいしております。精一杯努めさせていたたい、少しでも
この尊い気持ちが届きますように。ありがとうございます。

< 中学1年生の保護者より >

子供が0才の時に主人が亡くなりました。

上の子は8才でした。将来、先のことを考えると不安でしたが、大変ありがたひことに。

こちらの奨学金を頂き、子供の大学進学時まで使わずにずっと貯金させて頂いております。

上の子は おかげさまで 大学生に進学し、大学3年生になりました。

0才だった子供も今年中学1年に上がり、元気に学校に通っております。

将来は保育士になりたいようです。誰かの役に立てようという人に成長してほしい、感謝の気持ちと共に 親子共に生活させて頂きます。

誠にありがとうございます。

< 中学1年生の保護者より >

お姉様は娘は中学校に入学することができました。

私の妻(娘の母)は娘が1才の時に肺の病にかかり亡くなりました。

震災により職場の建物が使えず、3回引っ越し、その度に咳が出るようになっていました。そのような中で娘を授かったことから、育児休暇中に

体調を戻して欲しいと思っていましたが、なかなか病名が判らず、専門医に

たどりついた時には手遅れになっていました。短い時間の母と娘の生活で、

喪失感は今も消えません。このサポート奨学金をお願いする度に、頑張らなければと思います。本当に貴重なお金ありがとうございます。

< 中学1年生・中学3年生の保護者より >

このようなサポート体制のおかげで、勉強用のドリルも買えるので、とてもありがたいです。一人は今年受験生で、もう一人はいい高校の為に勉強を頑張っています。その為に本を購入させていただいたり、ドリル等に使用してもらっています。いつもありがとう ございます。

< 中学2年生の保護者より >

主人が亡くなり10年になります。遺児等サポート奨学金をいただき、とても助かっています。物価高騰の中、みなさまからいただいた奨学金を子どもの学費にしたいと思っています。ありがとうございます。

< 中学2年生の保護者より >

全国の寄附をされた方々、ありがとうございます。私は、パートで仕事をダブルワークで頑張っています。子供は勉強を1年の頃よりも意欲的に目標をもって頑張っているのを見て、見守りたいと思います。皆様の感謝を忘れず、過ごしていきたいと思っています。

< 中学2年生の保護者より >

お世話様です。

サポートして頂き ほんとうにありがとうございます。

本人も日々成長しており たくましくなってきております。

ほんとうにありがとうございます。

< 中学2年生の保護者より >

小学6年生の11月に大黒柱の父親(夫)を病気で失いました。悲しみの次にやって来たのは今後の生活に対する不安でした。正直 不安しかありませんでした。様々な手続きをしていく中で 当時の小学校の事務の職員の先生に「こういうのがありますよ、一応 応募してみませんか。」と教えてもらったのが遺児等サポート奨学金という制度でした。このような支援がある事を初めて知りました。本当にありがたい支援だと思いました。

私自身も去年大病をし、手術、現在も通院している状況で なかなか金銭面では楽ではありませんが 奨学金はまたまたお金が必要になった時のためになるべく手をつけないようにしております。

奨学金のご支援 本当に感謝しております。

< 中学2年生の保護者より >

物価高の影響もあり、経済的な不安をいつも抱えながら生活しているものの、この奨学金は、いざというときに、本当に役に立っています。支援をいただきありがとうございます。

< 中学2年生の保護者より >

小学校1年生から、ご支援していたいただきありがとうございます。あかりさまで、中学2年生となり、大きくなりました。2人の兄も高校生活をがんばっています。3人目の子供が、小学校1年生からあせろになって、本当に支えていただきました。ありがとうございます。

< 中学2年生の保護者より >

～ ありがとうございます。 ～

1010を2歳で亡くした娘は、早いもので

今年度中2になりました。

勉強に部活に委員会活動と、毎日忙しいよう

ですが、明るく楽しく暮らしているのは、寄附

されたお母さまのおかげです。私も、いつかたっちゃん
の支えになれるよう、がんばっています。

< 中学3年生の保護者より >

1人で育てていると思いのほか、出費も多く、寄附していたために
お金のあかげで子育てできています。感謝はありません。
いつもありがとうございます。

< 中学3年生の保護者より >

この奨学金のおかげで、夢中になっているサッカーを
続けられています。今年は高校受験の学年でもあり、
志望校に小回しているところではありますが、
子供の希望になるべくそんな風にサポートしていきたいと
思い、有効に役わせていただきます。
ありがとうございます。

< 中学3年生の保護者より >

小学生の頃から、奨学金を息子二人頂いています。

高2の長男は医学部を目指し、中3の次男は管理栄養士を目指しています。母親は保育士としており、家族3人奨学金を頂いたことに大変感謝しています。

これから家族で夢や目標に向かい元気で頑張っていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

< 中学3年生の保護者より >

この度はご支援ありがとうございます。

子どもにとって、病気で父親を亡くし、これからの生活に不安を感じる事があったと思います。

そんな中、奨学金をいただけることを知り、心強く感じました。

安心して受験できる環境にさせていただき感謝しております。

中学校の残り一年を有意義に過ごしていきたいと思っています。

ありがとうございました。

<保護者より>

私は9年前に夫を亡くしました。息子も2人います。当時下の子の幼稚園の面接をひかえた前の週に亡くなりました。車とバイクの事故でした。

私ももう仕事しようと転職を考えていたが、転職を辞退し、短時間の仕事を続けることになりました。子どもたちも成長する中でお金もかかり、困っていた所郵便局で員外紙をみつけて連絡し、支援を受けることになりました。

私も子どもたちもとても助かっています。ありがとうございます。

<保護者より>

寄附していただいた方々に本当にありがとうございます。

助けていただきまして感謝しております。

主人が急死をして母3家庭で子供3人を育てております。

私自身も夫を見る事ができず「うつ状態」になりました。

現在は、パートをしながら生活を立ててますが、中々... 子供を3人育ていくのはとても難しく毎日、1人で悩んでいます。寄附していただいて子供達の不安な顔が笑顔に戻りつつあります。

本当にありがとうございます。

<保護者より>

おかげさまで、前向きに生きることができています。

ありがとうございます。ご支援に深く感謝いたします。

<保護者より>

保育園、小学校、中学校に1人ずつ子どもがいます。これまでずっと専業主婦をしていて、仕事を探し、フルタイムで働いていますが主人がもらっていたお給料の半分ももらえません。この奨学金頂けて、とても助かっております。本当にありがとうございます。

発行：令和 8 年 7 月

宮城県教育庁総務課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8 番 1 号

TEL 022-211-3613

FAX 022-211-3699

E-mail kyoikgy@pref.miyagi.lg.jp